

月刊イノベ 2月号

ソーラーカープロジェクト

ソーラーカーレース鈴鹿2020に向けた新マシンの製作を行っている。シャーシ班では、昨年度のレースで使用したソーラーカーの設計をベースにスリップの原因であったステアリングの構造と独立していない後輪を改善した。ボディ班では、シャーシの変更に伴い空力解析ソフトを用いて、より空気抵抗の小さいボディを製作していく予定である。電装班においては、基板搭載数や部品点数の削減等を含めた制御回路の再設計も行っている。今年度はレースにおいて、45周完走を目標に掲げ、日々活動を行っている。

ロボコンプロジェクト

2019年のレスキューロボットコンテストで、マスタースレーブ制御のアームを作製した。これはマスターと呼ばれる専用のコントローラーで、スレーブとなるロボットアームを制御することである。このロボットアームは6つの関節をもち、自由度が高い。しかし、市販のコントローラーでは操縦が複雑になり、アームの自由度を生かすことができない。そのため、この方法で制御することとなった。このシステムを導入することで、今までよりも高い精度でロボットアームを操縦することが可能となった。2019年のレスキューロボットコンテストでもこのアームは活躍した。

月間イノベの改善にご協力ください

このポスターを読んでいただけたら、下の枠にシールを貼ってください。
内容が興味深いものであったなら、左の枠をお願いします。

場所: 徳島大学常三島キャンパス K棟北

開館時間: 月～金 10:00～19:00

Email: innovaoffice@tokushima-u.ac.jp

HP: <http://eci-tokushima-u.jp/>



興味深かった

つまらなかった